

国際ロータリー第2620地区

御殿場ロータリークラブ

Rotary



週報

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

第2587回 例会プログラム

- 例 会 場／東山荘講堂
- 開 会 点 鐘／12：30
- ロータリーソング／奉仕の理想
- 内 容／ビジョン策定について
ビジョン策定委員長 根上眞一君

会 員 慶 事

- 会員誕生日／11月25日 鈴木榮一君
- 夫人誕生日／11月23日 長谷川雅也君 ご夫人 輝美様
11月26日 山崎伊久雄君 ご夫人 久子様
- 結婚記念日／11月22日 芹澤隆博君 富美枝様 ご夫妻
11月24日 斎藤 衛君 真夕美様 ご夫妻
11月25日 勝又敏雄君 美津代様 ご夫妻
11月25日 高村繁男君 博子様 ご夫妻
11月26日 長田富夫君 枝津子様 ご夫妻

会 長 挨 拶

勝 又 博 文



欧州には日本の武士道とよく似た「ノブレス・オブリージュ」という概念があります。『高貴なる身分は、高貴なる義務を課す』つまり、高貴な身分にある人は、その身分にふさわしい高貴さ、寛大さ、勇気、気品、高潔さを身に付ける義務があるという、フランスの諺（ことわざ）です。『私心のない心』と『自己犠牲の精神』があるからこそ、社会的な地位の高い人は尊敬されるのです。つまり、「ノブレス・オブリージュ」とは、高貴な身分であるが故に、人に先立って危険や犠牲と向き合うことが求められる、まさに、エリートである「選ばれし者」の責務であると言えます。

イギリスでは、現在でも上流階級では「ノブレス・オブリージュ」の精神によって名門パブリックスクールの教育がなされています。

第二次世界大戦時、ウィンストン・チャーチルも、陸軍士官学校卒業しポーランド戦争に従軍しました。フォークランド紛争では、イギリスのアンドリュー王子が戦闘ヘリに乗って参戦しました。また、エリザベス女王も、第二次世界大戦中、車両整備や弾薬管理そして運搬の為に大型トラックの免許も取得したことも、有名な話です。日本においても、第二次世界大戦前の皇族男子は、日本軍の軍務（近衛師団など）に就いておりました。

ロータリークラブは、この「ノブレス・オブリージュ」の精神に通じる精神を持った団体であると思います。クラブの中でいろいろな役職を経験しながら身につく精神は、会社や地域でのリーダーとして必要な能力であり、「ノブレス・オブリージュ」の精神でもあります。

日本で、世界をリードする人材をどう育てればよいのか。これは永遠のテーマであります。真のリーダーに必要な資質の一つは「志の高さ」であります。子供の頃から「リーダーとは何ぞや」ということを考える機会を作ってやることでしょう。また、その資質の一つは「ノブレス・オブリージュ」の精神を持っていることであり、この精神を育てていくことが大切だと思います。激しく変化している世界で日本が生き残っていくためには、武士道の精神とともに「ノブレス・オブリージュ」の精神が再生され、優れたリーダーが各界に多数輩出されることが望まれます。その実現を心から願うばかりです。



会長挨拶用
QRコード

11/14のスマイル

11月12日 東山荘チャリティゴルフは皆様のご支援により52名の参加者を数えました。数々のお支え感謝申し上げます。

堀口廣司君



ROTARY CONNECTS
THE WORLD

ロータリーは世界をつなぐ

次 回
11月28日の
例 会

- ★東山荘講堂
- ★12：30点鐘
- ★小山町について
小山町長 池谷晴一様



「天空の詩」

御殿場警察署長
河合 竜司 様

本日はこのような場所で講演をさせて頂きましてありがとうございます。

現在、御殿場に赴任してきていろいろな方と接し、過ごさせてもらっています。

その中で、本日の演題「天空の詩」は「日本航空123便墜落事故」であります。

○事件までの経緯

524人を乗せた日本航空123便は午後6時24分、大阪へ向け羽田空港を発、東京湾を抜けたあたり、異常からくる操縦不能状態に陥り、静岡県内上空から富士山方向、相模湖方面へと進路を取り、群馬県、埼玉県、長野県の県境の山中に墜落、午後6時56分（推定）、524人中520人が死亡、航空史上例をみない最大最悪の事故となりました。事故から34年が経過し、経験した人間も私の年齢が最年少となり、事故現場の様子を語る者も少なくなりました。

○静岡県警応援部隊出発

8月14日出動命令。16日現場到着。当時は、地元の誰もがいったことのないような陰しく急峻な山岳地帯でありました。官民一体の活動として、地元消防団員、自衛隊員が活躍し、陸上自衛隊は応急的に橋、竹で階段を作り、急斜面には手すり、警察が行くまでに仮設ヘリポートを作っていました。

○いざ、現場へ

出発は午前3時、群馬県藤岡市内の学校の体育館に宿泊し、当時、群馬県警ばかりでなく県全体が迷走し、隊長以下具体的な任務も知られずに登りましたが、墜落事故発生から死にもものぐるいでやって、そして、自分に下された命令を行うことで精一杯だったと思います。今考えれば、墜落した後数日なんて生半かなものではなく、捜査のために何日も、何日も徹夜されていたんだろうと感じます。

○現場到着

現場では、山の尾根にJALとかかれた主翼が突き刺さり、ショッキングな光景でした。

任務はご遺体の捜索、遺品の捜索発見で、遺品のアナログ時計は、事故当時の急な気圧の変化により、同じ時間を指していました。遺体は、身元判明につながるものが優先です。隊の食料は限られていて、2日間でパン2個、中身はピーナツバターでなく味噌でした。また、夜間に大雨警報で、カップを着たまま夜を過ごしました。

○その後

当時の隊員たちは時間をみつけてというより、時間を作ってあの御巢鷹山に度々訪れている隊員が多いようです。忘れられない悲惨な事故であったことを証明しています。

私もその時の気持ちをもって本日の題名「天空の詩」を付けさせて頂きました。

その他の事件にも関わってきましたが、今はオレオレ詐欺などがありますので、お気をつけください。最後に素晴らしい作文を紹介し、私の話を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。

11/14の出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の確定出席率
55名	52名	49名	94.23%	100%

欠席者(3名) 秋田 敬君・鈴木善明君・渡辺修司君

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

10/31のメーキャップ

10月27日	オープンハウス	豊山 篤君
10月27日	オープンハウス	白井良太郎君
10月27日	オープンハウス	渡辺修司君
10月30日	北海道Eクラブ	鈴木善明君
10月31日	北海道Eクラブ	勝又安彦君
11月4日	地区大会	秋田 敬君
11月5日	米山委員会	斉藤礼志君



司会
久保田勇輝君



ソングリーダー
秋田悦夫君



出席報告
勝又 淳君



皆出席
池谷正徳君



会員誕生日
勝又博文君